

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

1. 意見陳述申込者

平成17年3月19日

ふりがな
こ 氏 名

年齢 76 歳

性別 (男) ・ 女

こ 住 所 名寄市

2. ご 意 見

◎サンルダムの必要性を理解しているので、早急に完成されますよう期待します。

◎昭和30年代に名寄市の仮設市営プールとして、名寄川の堰堤下を借り上げて開設していた。当時は水量も多く大変な賑わいであった。昭和40年代になって屋根付きの市営プールが設置され、河川敷でのプールは終了した。

◎昭和29年の台風13号による風倒木被害がきっかけか、その頃から山の保水力が低下し水害が多くなり、また、夏は川の水が少なくなり、或いは水害対策で寝ずの作業は数回。

◎昭和40年半ばから、天塩川治水促進期成会の事務局を担当し、河川改修への陳情を続けたが、直接には同50年代の真熟別頭首工改修に係わったのが、大きな思い出である。

この頃からサンルダムの必要性が検討され、同期成会でも事業推進のための陳情活動が始まり、現在に至っていると思う。

◎ちなみに、昭和28年から同35年まで、北海道図書館名寄分館の職員（兼務）として、和寒町以北の市町村につくった85ステーションを移動図書館として巡回したが、現在の岩尾内ダムとなっている朝日町似様地区の小・中学校で図書の貸出しをしたことがある。

このときは地質調査をしていたが、今は湖底となっている。秋の渇水期には、旧民家の土台や道路跡が見えることがあるが、遠い昔が思い出される。この岩尾内ダムが、天塩川の治水対策に貢献をしているのを見ても、サンルダムの早期完成を願うのは当然である。